

子育てしやすい環境

ファミリーに優しい街の条件は、経験者に聞くのが一番！そこでママ・パパの声を集めてみました。まだ子どもがいない人や赤ちゃん時期には思いもよらない体験談がいっぱい！ぜひ参考にしよう

子育てが楽しい街とは？

雨の日&暑い日に重宝する大型ショッピングモールがある

暑い日、雨の日、寒い日など、外に行けないときは、ショッピングモールはベビーカーでの格好のお散歩コースです (Nさん①※)

ららぽーとが近い！道路は広いし、授乳室も充実。平日はママ友ランチやお散歩、休日は子ども向けイベントが楽しめます (Rさん②)

屋内の遊び場こそ必要

晴れて気候が良ければ自転車どこへでも行けるが問題はそれ以外！という声が多く、大型商業施設は買い物や外食はもちろん、屋内で過ごす場所として大人気のように。



人気の新名所、二子玉川ライズ

※①など、数字は子どもの年齢、以下同

遊具、芝生、池etc. 公園が大小織り交ぜて複数ある

赤ちゃんのうちは遊具はあまり使えない。芝生があったらハイハイしたりピクニックもできるのに (Yさん③①)

遊具がそこそこある小さな公園が歩いてすぐ。アスレチックやサイクリングコースまである大きな公園は自転車まで15分くらいなので使い分けてます (Iさん③)

近くの小さな公園はよちよち歩きときは便利！でも今はわんぱく盛りな息子には物足りなく、自転車で別の公園に (Tさん④)

公園は成長に合わせて

子どもの成長やシーンに合わせて、徒歩圏で気軽に公園と、自転車で行ける範囲で遊具の充実した大きな公園の両方が必要。「防犯面から見通しの良さも重要です」(ミキハウス子育て総研の藤田さん。以下「藤」で表記)。



赤ちゃん用と小学生用遊び施設が両方ある

近くの子育て支援センターに幼稚園に行くまでよく通いました！ママ友づくりに最適です (Tさん④)

放課後、友達と遊びたがるときは児童館へ。そのおかげで家を片付けない。児童館はわが家の第二のリビングかな。図書館も好きな子には便利 (Hさん③)

ほぼ毎日足を運ぶ場所になる

自治体が運営する子育て支援施設は、毎日通う場所のない幼稚園に入るまでの乳児向けのもの、小学生の放課後の居場所になる児童館の両方ほしい。

徒歩圏にスーパー・薬局・コンビニがある

近くにドラッグストアがない。オムツや離乳食など、安くまとめ買いたいの (Aさん⑨)

車移動が基本でも徒歩圏にスーパーがないのは× (Kさん③①①)

駅からの道にコンビニすらなくて困った！ (Nさん④)

あとと実感しないけれど…

「近くになくて不便！」という声が多かったのがスーパー、薬局、コンビニの3つ。特に子ども用品の品そろえがいいお店は必要不可欠のようだ。

子連れOKなおしゃれカフェもある

ファミレスやファストフードのお店もあるし、子連れも大丈夫な、イタリアンレストランやベーカリーカフェもあるので楽しいですよ (Yさん③①)

子連れだと外食場所がワンパターン。子どもが思う存分遊べて、ママもお茶ができる場所がほしい。親子専用カフェなら理想的 (Tさん④)

ママもお茶を楽しみたい！

「子連れでも気兼ねがいらぬファミレスは必須」という意見が多い一方、「もっとおしゃれなカフェも！」というのがママの正直な気持ちのよう。

子育てがラクになる街とは？

パパの子育て参加度が増える通勤がラクな街を選ぶ

夫は夕方17時くらい帰ってきて、子どもを見てくれ、夜また仕事に行きます。都心からできることがない (Yさん②②)

夫は職場まで20分と近いので、朝の子ども世話を保育園へ送るのはパパの役割。おかげで私の朝はのんびり (Kさん⑤)

子育て＝郊外と思いがちだがママの子育てストレスを軽減するには何よりパパの協力が不可欠。夫の通勤時間を優先させ、おのずと夫が育児に積極的にかかわれる環境を選択するのも手だ。

ファミリー向けに開発された新しい街

再開された街なので歩道が広くベビーカーが押しやすい。しかも駅周辺に公園や区の子育て施設が集中しているから楽チン (Mさん③①)

ニュータウンだから街全体が子ども連れに配慮されていると思う。緑が多いとか空間が広いとか。買い物や外食するお店も子どもに優しいです。子どもが多いのでママ友同士で子どもを預けあったりもします (Nさん⑥)

古い街なので子どもが少なく、ファミリー向けのお店がない……。保育園は入れたけれど (Iさん④)

子育て向きに開発されている

再開は、初めて家を買う子育て家族向けに企画されていることが多い。当然ファミリーは暮らしやすく、多くの子育て家族が集まり、その結果、ファミリー向けのお店が充実。さらに魅力が増す循環に。ただし「子どもが多すぎて幼稚園や保育園の競争は激しい」という声も。



共働きでなくても「妻の実家」近く！

子どもができてから子育ての大変さを実感（特に病気時）。実家の近くがよかった… (Tさん①)

夫の通勤を優先すると私の実家からは2時間超。[せめて1時間]と交渉。子どもが生まれてからは母子で実家に帰ったり、母に来てもらうことも多いので大正解！ (Sさん④)

実家は子育ての強力な助っ人

まだ子どもがいないときには想像がつかないけど、子どもが生まれると実家のヘルプが不可欠に。「やはり夫よりも妻の実家を優先させる人が多いです」(藤)

行政の子育て支援が充実した市・区

東京都から横浜市に引っ越し。乳幼児医療費助成に所得制限があるなんてショックでした (Oさん③)

うちの区は所得が高いと認可保育園の保育料がけっこう高い。その代わり認可外でも2万5000円の補助金が出るので出費は同じ。結局、家から近い認可外にしました (Nさん②)

自治体のHPで比較検討できる

子育て支援サービスが自治体によって違う。特に医療費助成の対象年齢と所得制限の有無、保育料や認可外保育園の補助金は金額が大きいくらいに確認を。

ファミリーが多い千葉ニュータウン



ココが気になる！

保育園・幼稚園・小学校事情はどうチェックする？

「幼稚園は送迎バスがあるので近きよりも特色で選ぶ」「保育園が近くでも入れるわけではない」という声があり、自治体のHP等で数や近さなど広く調べておくことは必要だが、詳しくは「住んでから」口コミ情報を入手するのが現実的なの。「公立小は教師の人事異動でガラッと雰囲気が変わることもあり、現在の評判をうのみにできない」(藤)というように、先のごとまで想定するには限界があるようだ。

先輩の証言

アドバイザーとしてくれた
ミキハウス子育て総研
代表取締役社長 藤田洋さん
子育て応援サイト「ハッピー・ノート・ドットコム」を運営、フリーマガジン「Happy Note」発行。「子育てにやさしい住まいと環境」認定事業を行う

子育てに安心な街とは？

赤ちゃん時期は 駅のバリアフリーが必須

最寄駅はエレベーターもエスカレーターもなく、ベビーカーを担ぐのが**大変!**隣の駅を利用して (Rさん②)

うちから一番近い駅への入口には、なぜかポールがあり(車が入れないように?)、ベビーカーでは通れない (Tさん③)

ベビーカーには3段の段差でも困る駅にエレベーターがあるか、スロープのない段差や通りにくい狭い場所はないか確認を。「まだ子どもがいない場合も、ベビーカーを押している気分歩いて想像してみてくださいは?」(藤)

自転車専用道路があると安心



通学路は駅までの道との境も合



小学校への通学路が安全&地域の防犯意識が高い街

一番近い小学校は隣の学区で、学区内の小学校へは、歩道のない、車の通りの多い道を通らなくていいなかったのが誤算でした (Hさん③)

うちの学区は通学路に保護者が旗を持って立ったり、地域の人に子どもの見守りをお願いしています。さらに朝や下校時、夕方にパトロールして危険箇所や暗い場所をチェックして学校に提出するなど、保護者の活動がさかん。正直大変だけど防犯意識が高いのかも (Kさん④)

歩道が狭くて朝は道路に人がはみ出している。危険すぎる (Sさん④)

ハードとソフト両方大事

道路の安全性は、将来通う予定の小学校への通学路もチェックしたい。「集団登校を実施していたり、保護者が通学路をパトロールしていたり、ソフト面も重要。子どもが駆け込める「子ども110番」の家が多いとその地域の防犯意識は高そうです」(藤)

車+自転車の両方から身を守る

駅からマンションまで歩行者用の**デッドスペース**でつながっているの、車を気にしなくていい (Mさん③)

駅までの歩道は広いが**自転車も多いので危険**。十分に広いんだから分けばいいのに (Mさん④)

マンション前の通りは狭いわりに**二車線で車の通りが多く、信号がないため、けっこうスピードを出している**ので危ない (Tさん④)

駅まで広い歩道があるといい

「朝付きの歩道や、歩行者と車が分離されているといい。車の交通量も確認を」(藤)。意外に危ないのが自転車。自転車の通行量や歩道の広さも気にしておきたい。

自転車にはツライ坂道がない!

マンションが高台にあり、見晴らしはいいけれど、**坂の上り下りは大変**。特に自転車は (Kさん③)

周辺がすべて平坦な道で、どこへ行くにも自転車が楽チン! 実家は坂道が多いので実感します (Nさん③)

自転車は平坦な道でない

自転車が主な交通手段のママは多い。しかし子どもを乗せたママチャリに坂道は天敵! 保育園、幼稚園、スーパー、公園などよく通う場所までの道が平坦か確認を。

ココが気になる!

駅から遠いマンションは不便?

広さを優先させた結果、駅から遠い物件を選ぶファミリーは多い。しかし「駅からは遠いけれど、児童館や公園は徒歩圏だから大丈夫」「休日は車移動なので関係ない」「バス停はマンション前で始発地点なので座っていける」など「間違って」と答える人が多数。乳幼児の子育てには駅の遠さは大丈夫のようだ。ただし小学校高学年にもなると塾の帰りが夜になり、駅から遠いと送迎が必要になることもある。

子育てしやすい「マンション」とは?

子育てしやすい環境とは、なにも街のことばかりではない。例えばマンションの共用施設も環境のひとつ。ここでは、子育てがぐっと楽になるマンションの条件についても、体験談を紹介します

同世代が多い、同時入居の新築なら「子育て仲間」がしやすい

子どもが多く、**クラスメート**が同じマンション内にいる。連絡帳を渡したり、情報交換できたり。便利 (Nさん②)

同じマンション内のママ友たちは一番の子育て仲間。情報面でも精神面でも支えてもらっています (Wさん②)

親も子どもも同世代が多く、**私にもママ友ができました!**今や家族ぐるみの付き合いです (Mさん③)

メリットは友達づくりファミリー向けで、中規模以上の新築物件なら、子どもが多く、一斉入居なので、イベントや共用施設で親も子ども友達になりやすい。「縦に長いより横に長いマンションのほうが、同じフロアでおずおず顔を合わせる機会が多いです」(藤)



サイクルポートなら家族全員の自転車が置ける



雨&真夏の救世主 キッズルームがある

真夏には子ども用プールをキッズルーム前のウッドデッキに出してくれるので助かる (Rさん②)

同世代の友達が多いのでいつでも遊べるが、**雨の日はキッズルームが大活躍!** (Nさん③)

雨の日に一日中子どもと2人で部屋にいるのは**正直ツライ!**キッズルームがほしい!! (Nさん④)

小さくて奥まったキッズルームなので、日曜は小学生のゲーム場所になり、使いにくい (Nさん②)

使えるキッズルームとは

外に出られないときの遊び場としてキッズルームは人気。しかし長く安全に使われるためには条件も。「大人の目が届く開放的な場所であること、子どもが大きくなったら、道具や間仕切りを取れば別の目的に使えることが大切」(藤)

使える共用施設が充実した大規模物件

子どもが生まれると実家から親が来る回数が増える。ただ部屋が狭いので、近くのホテルに泊まってもらう。マンション内に**ゲストルーム**があったらいいのに! (Yさん③)

スカイラウンジなど、自分たちの部屋以外で**気兼ねなく集まれる場所**が多いのは気が楽。自宅を片付くなくてもいいね (Rさん②)

パーティールームではしょっちゅう子ども連れのイベントをやっていたので、仲良しのママが多い。今は子どもが大食いなので、子どもが**ママだけの飲み会**にも (Hさん④)

やっぱり大規模は便利!

大規模マンションなら特に子ども向けでない共用施設やサービスも便利だ。「駐車場の荷物を部屋まで運んでくれるポーターサービスは助かる」「周囲のゆとりとした敷地は子どもの自転車練習にぴったり」など意見多数。

子ども用自転車が置けるかは盲点!

子ども用の補助輪付き自転車と三輪車は駐輪場に置けないので、玄関前に置いている (Hさん④)

サイクルポートが便利

子ども用自転車は普通の駐輪場のラックには入らないので玄関前に置く人が多いが、「管理規約上は原則NGのケースが多い」「1家族で1スペース、3台程度は置けるサイクルポートがおすすめ」(藤)

幼稚園に入るまでにマイホーム購入が吉

ファミリーにとっては購入タイミングも重要だ。「幼稚園に入る前がベスト。同じマンション内にママ友や先輩ママがいれば幼稚園の評判など生の声を聞いて選べる。小学校へもお友達と一緒に通える」と藤田さんは指摘。孤独になりがちな子育てを、今はマンションという小さな地域でフォローしているのかもしれない。